



中野冷機株式会社

2021年12月期 第2四半期 決算説明会

2021年9月8日

東京証券取引所JASDAQ
証券コード：6411

- I. 2021年12月期 第2四半期 決算の概要**
- II. 2021年12月期 業績予想**
- III. 中長期経営計画“N-ExT2023”**
- IV. 株主還元方針**
- V. 企業価値向上に向けた取り組み**



I. 2021年12月期 第2四半期決算の概要

1. 新型コロナウイルス感染拡大の当社への影響と対応
2. 業績サマリー
3. 損益計算書
4. 増減要因分析
5. 販売実績（事業分野別・販売国別）
6. 貸借対照表
7. キャッシュフロー計算書



2021年は、スーパーマーケットの改装需要が増え、売上が順調に推移

国内

◆ ショーケース・倉庫事業

- スーパーマーケットの業績が好調なことから改装需要が増えている状況
- コンビニエンスストア、倉庫事業は売上堅調

◆ メンテナンス事業

- 修理要請は継続しており、コロナ禍においても影響は少なく売上堅調

◆ 海外事業

- 昨年から引き続き、渡航や現地調査に大きな制限が発生

中国

- 感染拡大が終息し経済を回すために政府が投資促進 国内での活動には影響なし
- 東南アジア向けの輸出に関しては出荷の延期が発生



【ショーケース・倉庫事業】⇒増収 (前年同期比26.9%増)

- スーパーマーケット向け売上は、店舗の改装需要が好調なことにより増収
- コンビニエンス・ストア向け売上、物流センター等大型物件向け売上は堅調に推移



【メンテナンス事業】⇒増収 (前年同期比14.9%増)

- 提案型メンテナンスを継続して実施し、新規需要の掘り起こしにより増収



【海外事業】⇒増収 (前年同期比62.0%増)

- 中国における経済活動の再開が本格化したことにより増収

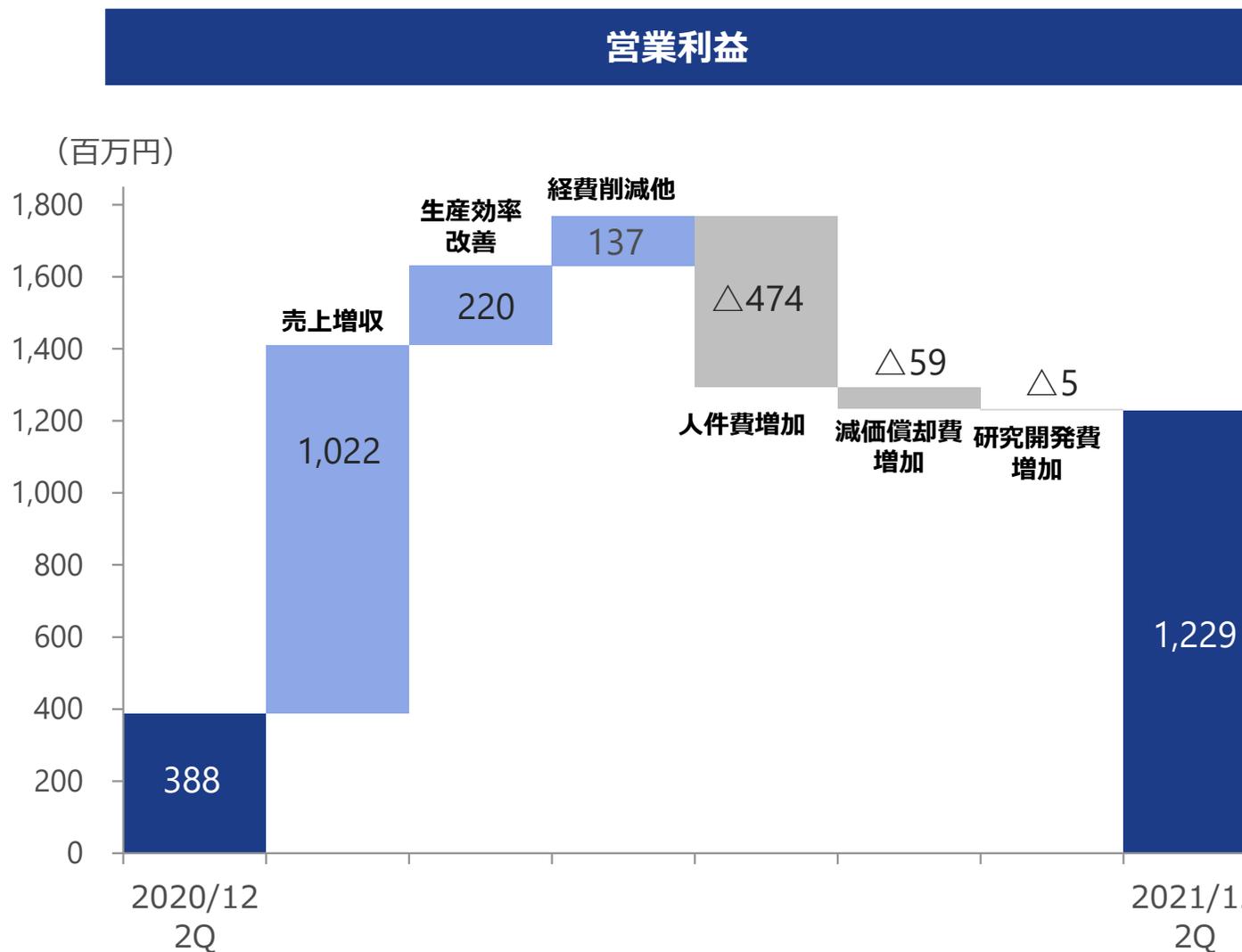
3. 2021年12月期第2四半期 損益計算書

- 外出自粛が継続 ⇒ 巣ごもり需要が依然として高く、スーパーマーケットの改装需要が好調
- 中国での経済活動の再開が本格化

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2020/12		2021/12				前期比 増減
	2Q実績	構成比	当初予想 (21.2.10)	修正予想 (21.5.14)	2Q実績	構成比	
売上高	12,851	100.0	14,100	16,700	16,419	100.0	3,568
ショーケース ・ 倉庫事業	10,215	79.5	—	—	12,962	78.9	2,747
メンテナンス事業	1,724	13.4	—	—	1,980	12.1	256
海外事業	911	7.1	—	—	1,477	9.0	565
営業利益	388	3.0	840	1,158	1,229	7.5	841
経常利益	437	3.4	891	1,205	1,296	7.9	859
親会社株主に帰属する 当期純利益	317	2.5	618	821	859	5.2	542

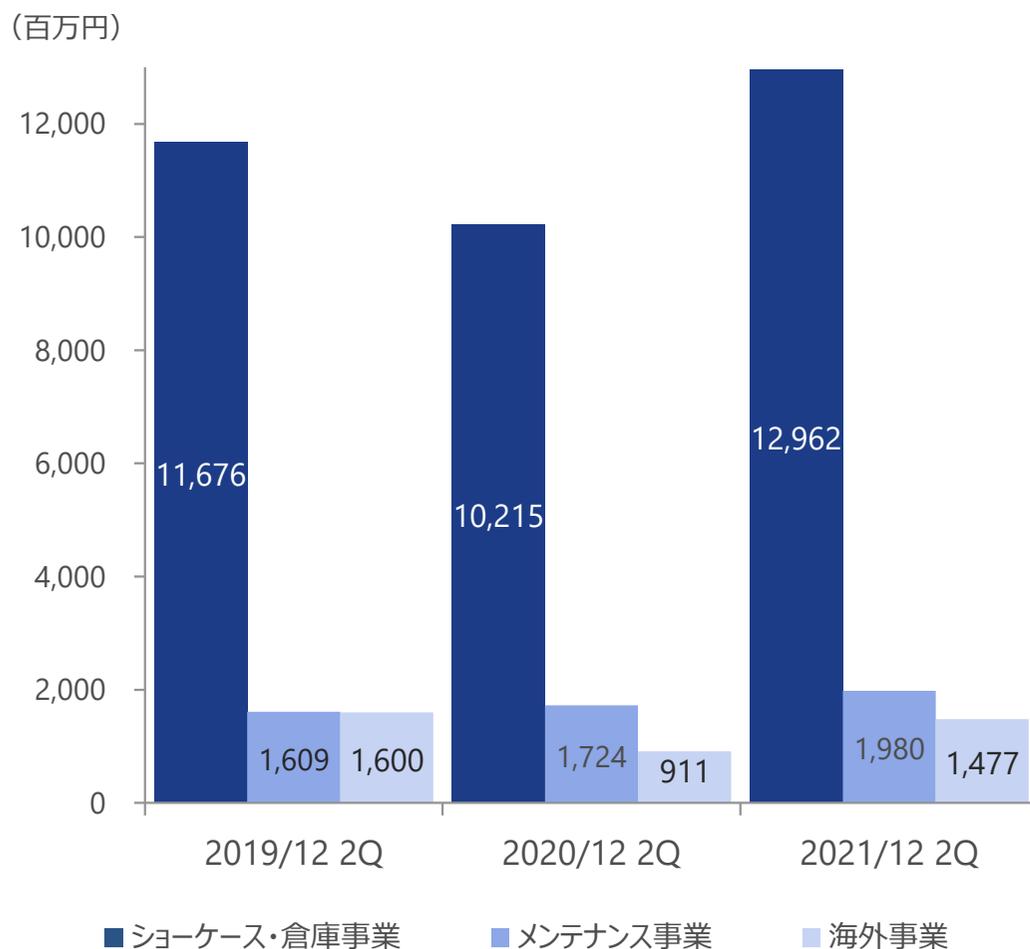
営業利益は売上の増収により増益となるも人件費などコスト増加



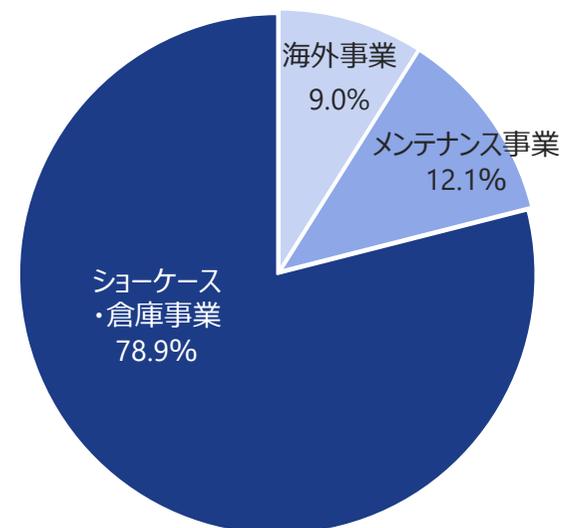
5-1. 2021年12月期第2四半期 販売実績（事業分野別）

- ショーケース・倉庫事業はスーパーマーケットの改装が好調
- メンテナンス事業は提案型メンテナンスの効果続く
- 海外事業は中国経済の回復に向けた活動が本格化

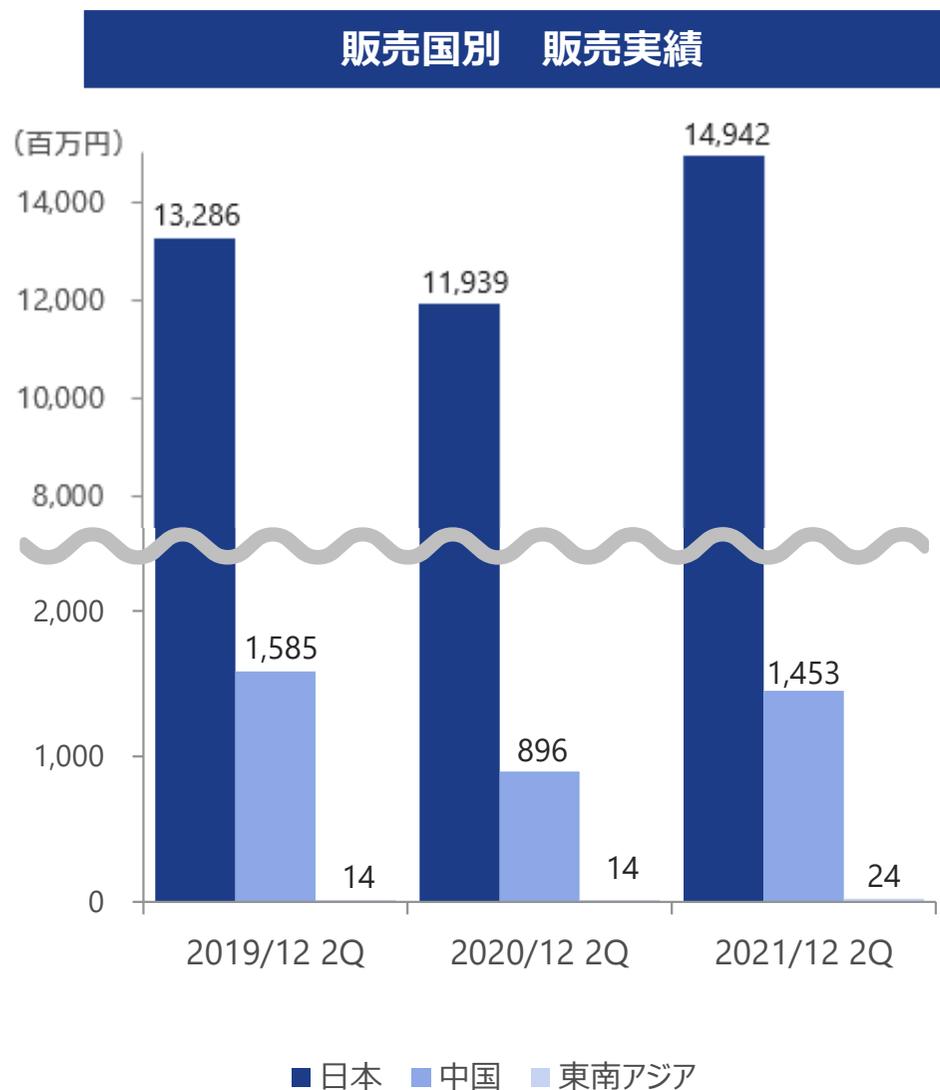
事業分野別 販売実績



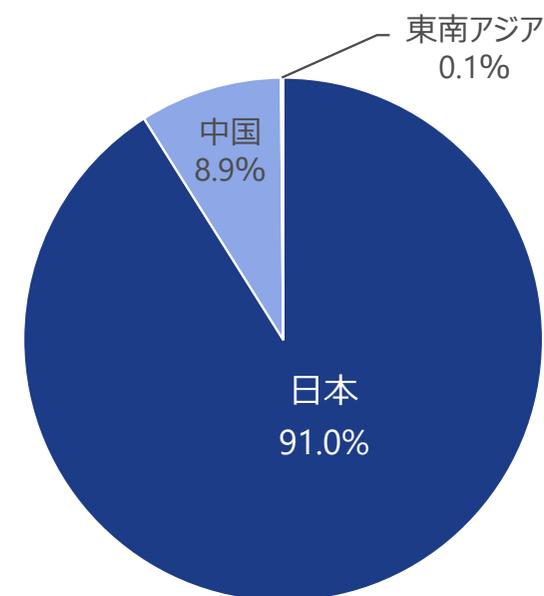
2021年12月期第2四半期
事業分野別 販売実績構成比



日本、中国ともに売上伸長 東南アジアも売上を伸ばす



2021年12月期第2四半期
販売国別 販売実績構成比

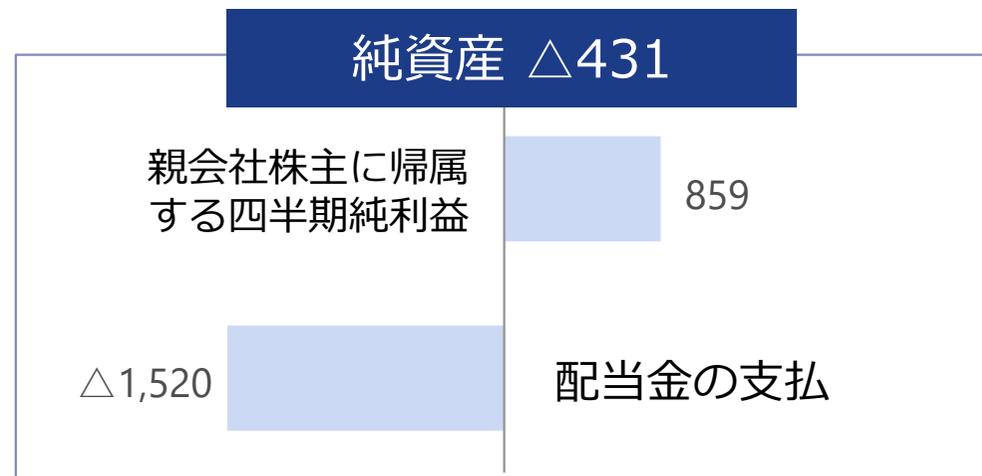
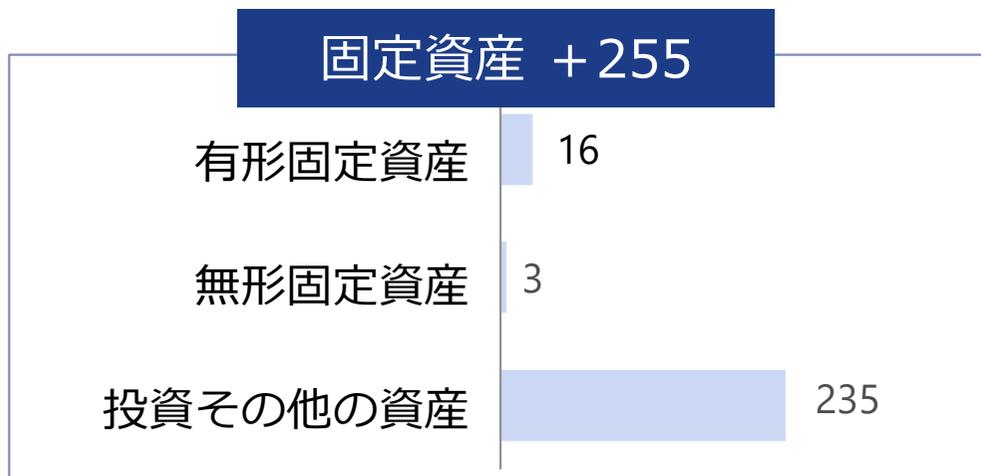
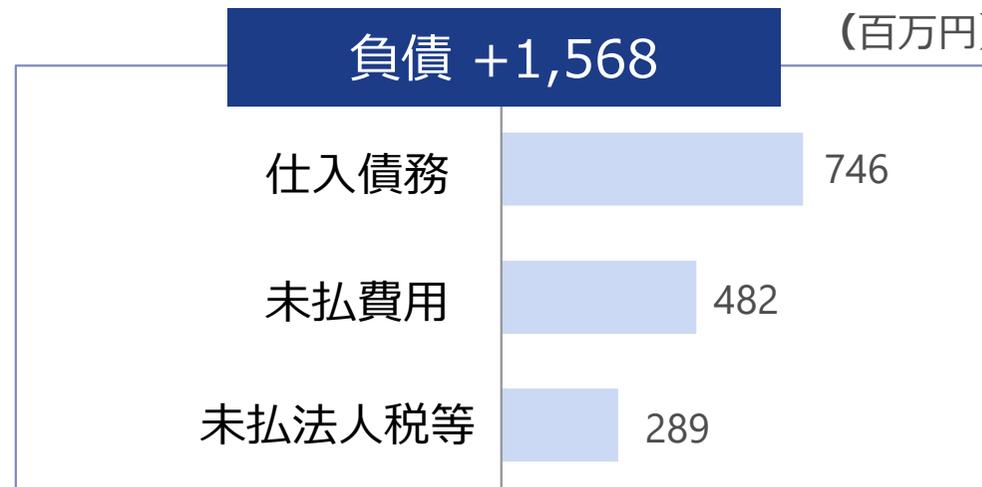


6. 2021年12月期第2四半期 貸借対照表

2020年12月期 期末
総資産 34,103百万円

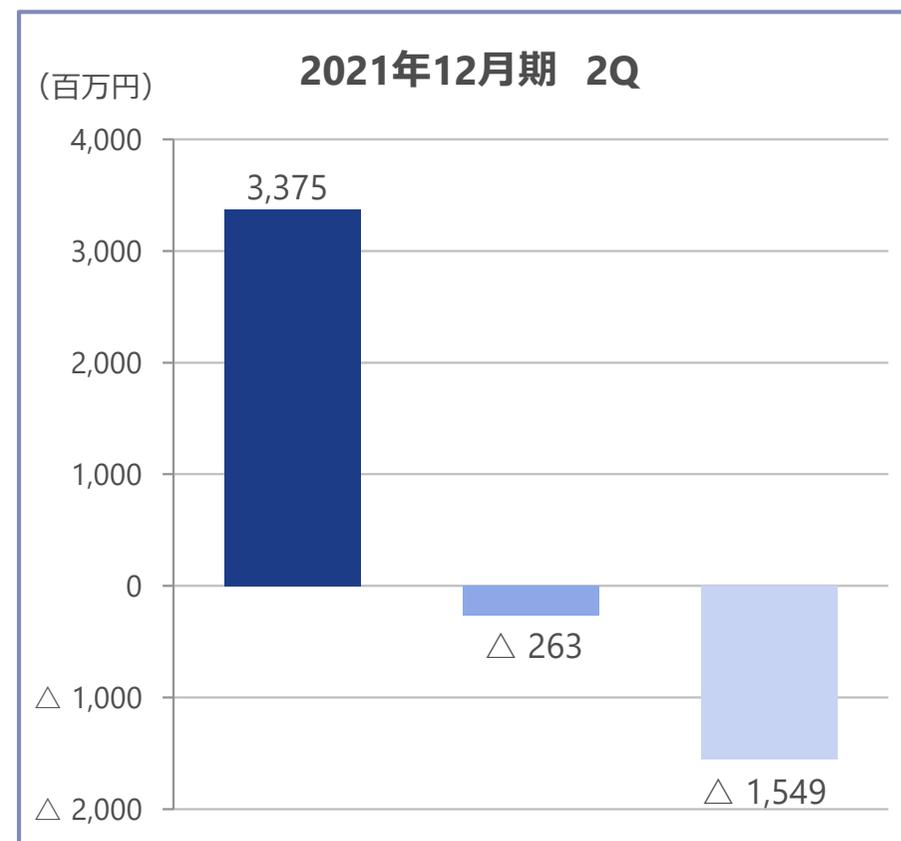
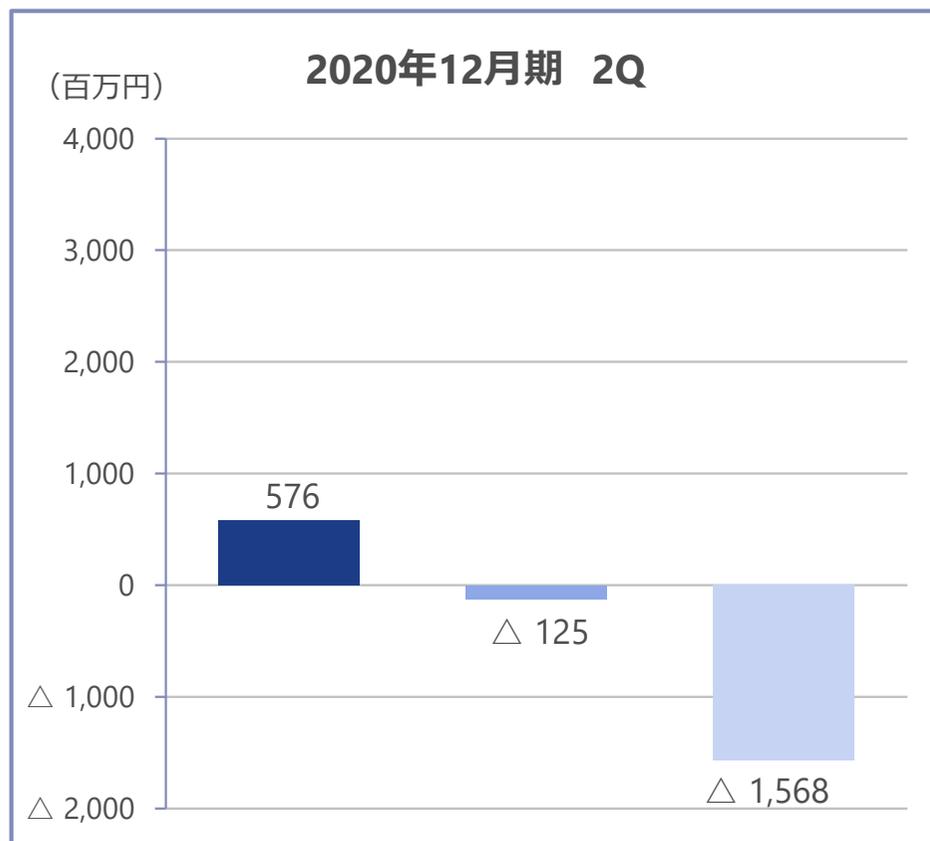
+1,137百万円

2021年12月期第2四半期末
総資産 35,240百万円



自己資本比率 2020年4Q 72.6% 2021年2Q 68.7% △3.9%

7. 2021年12月期第2四半期 キャッシュフロー計算書



■ 営業活動CF ■ 投資活動CF ■ 財務活動CF

【ポイント】 《2021年12月期2Q 営業活動CF》

- 税金等調整前四半期純利益 1,297百万円
- 売上債権の減少額 1,438百万円
- 仕入債務の増加額 688百万円

II. 2021年12月期 業績予想

1. 業績サマリー
2. 損益計算書
3. 増減要因分析
4. 販売見込（事業分野別・販売国別）



2021年は全事業合計で売上高320億円を見込む（前年同期比13.3%増 予想）



【ショーケース・倉庫事業】（前年同期比15.4%増予想）

- ショーケース事業は、スーパーマーケットの改装需要が下半期も好調に推移
- 倉庫事業は、一部納期の変更が発生しているものの堅調に推移



【メンテナンス事業】（前年同期比13.6%増予想）

- 提案型メンテナンスの継続により新規の受注を獲得
- 物流センターのメンテナンス強化により増収見込み



【海外事業】（前年同期比4.5%減予想）

- 中国においてはネット販売の促進の動き
- 下半期は一部顧客の出店抑制により受注減少の見込み

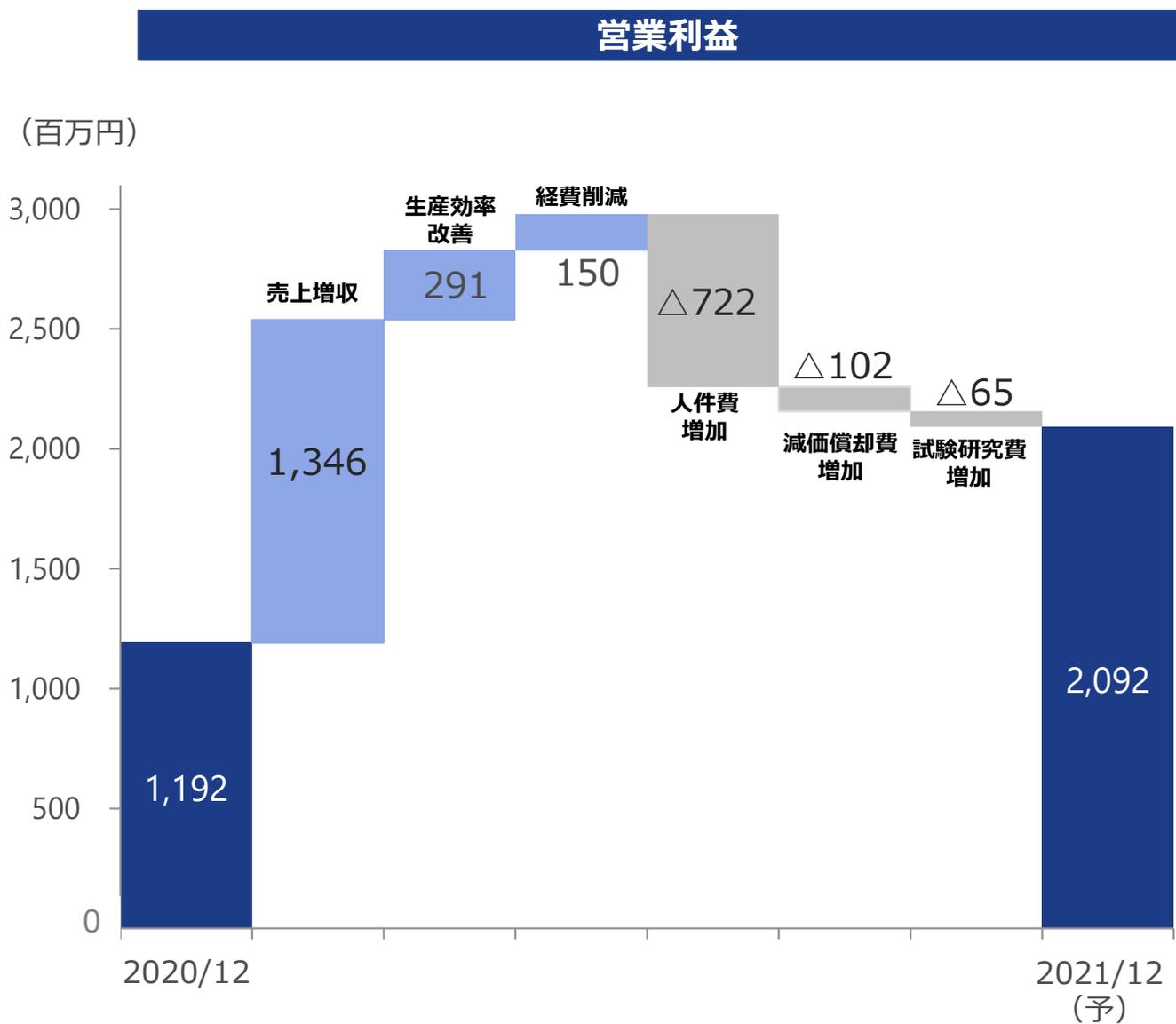
スーパーマーケットの改装需要が下半期も好調 ⇒ 前年対比で増収増益を見込む

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2020/12		2021/12 前期比			
	実績	構成比	予想	増減	伸率	構成比
売上高	28,244	100.0	32,000	3,755	13.3	100.0
・ ショーケース ・ 倉庫事業	21,934	77.7	25,311	3,376	15.4	79.1
メンテナンス事業	3,676	13.0	4,175	498	13.6	13.0
海外事業	2,633	9.3	2,514	△ 119	△ 4.5	7.9
営業利益	1,192	4.2	2,092	899	75.4	6.5
経常利益	1,286	4.6	2,200	913	71.0	6.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	912	3.2	1,492	579	63.5	4.7

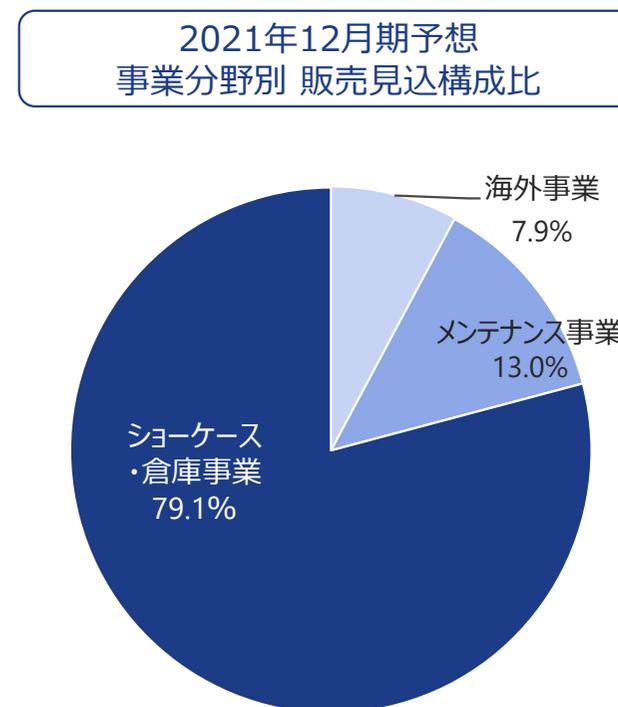
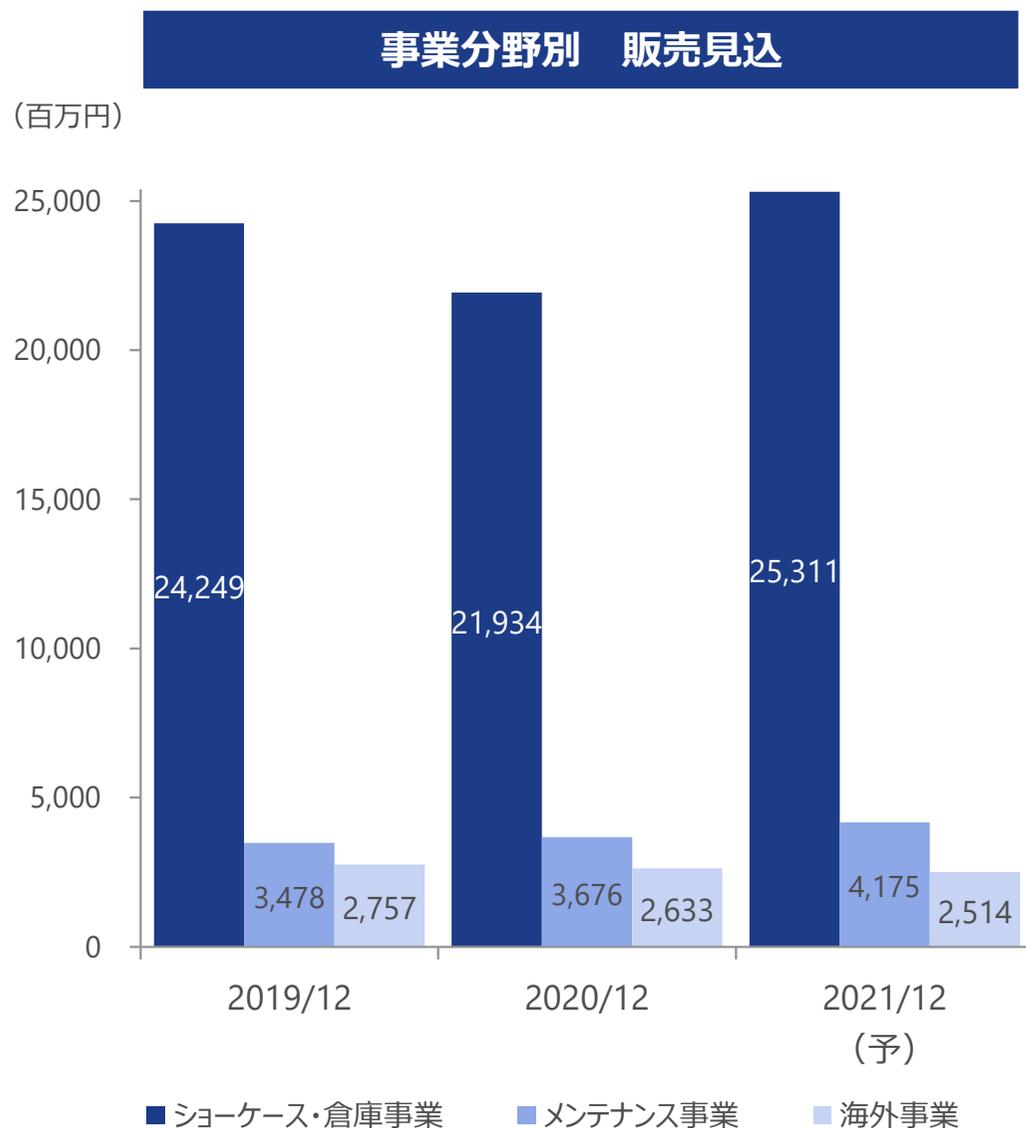
3. 2021年12月期予想 増減要因分析

売上増収・生産効率改善により営業利益は増益予想

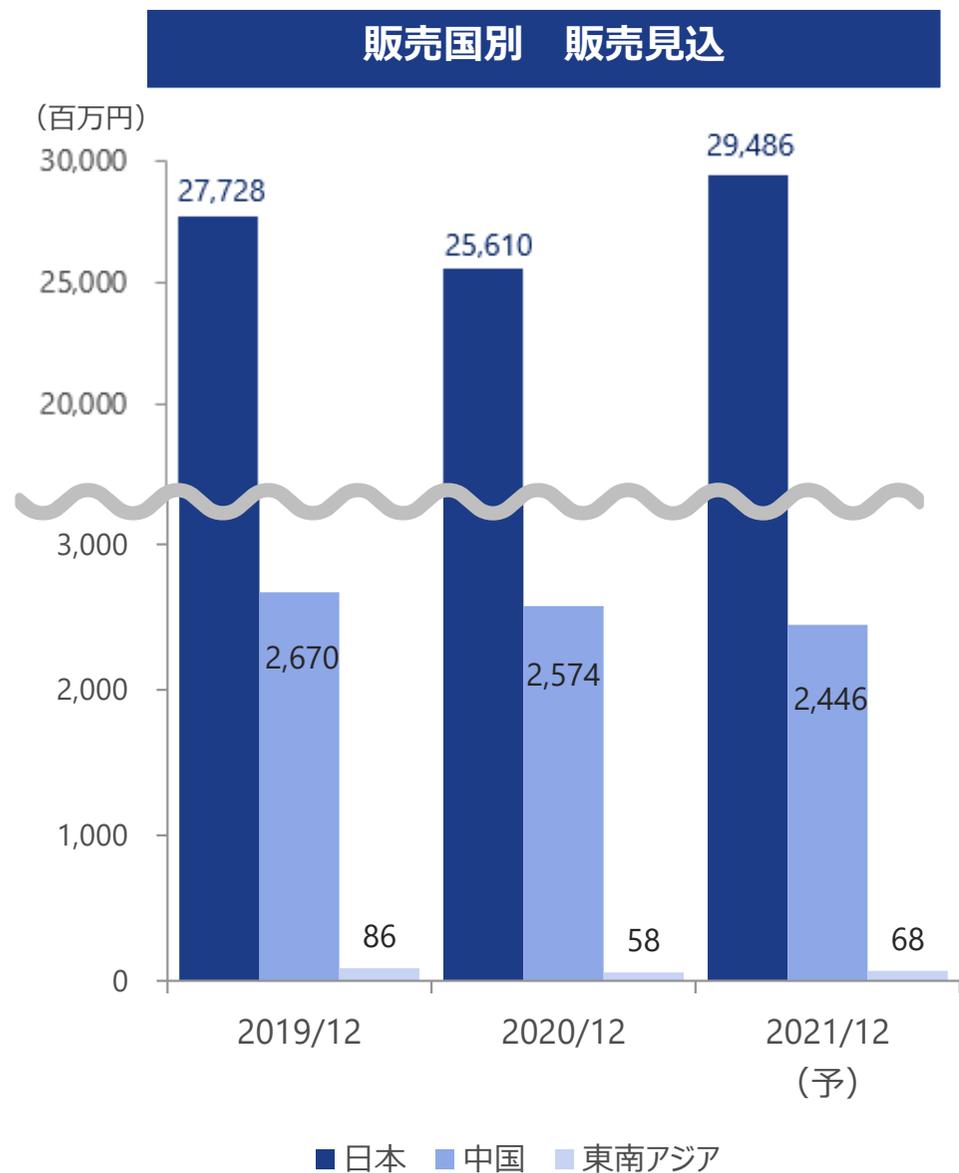


4-1. 2021年12月期予想 販売見込（事業分野別）

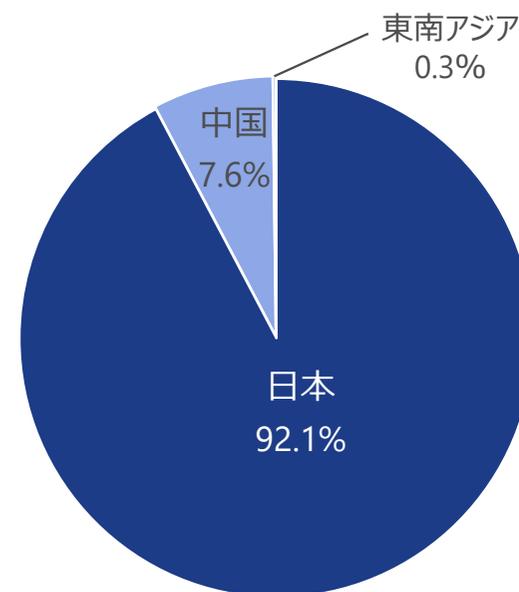
- ・ ショーケース事業・倉庫事業およびメンテナンス事業は増収と予想
- ・ 海外事業は減収と予想



日本は増収も、中国は減収予想



2021年12月期予想
販売国別 販売見込構成比



III. 中長期経営計画“N-ExT2023”

1. 中長期経営計画の概要

2. 事業計画進捗

3. 設備投資の進捗状況



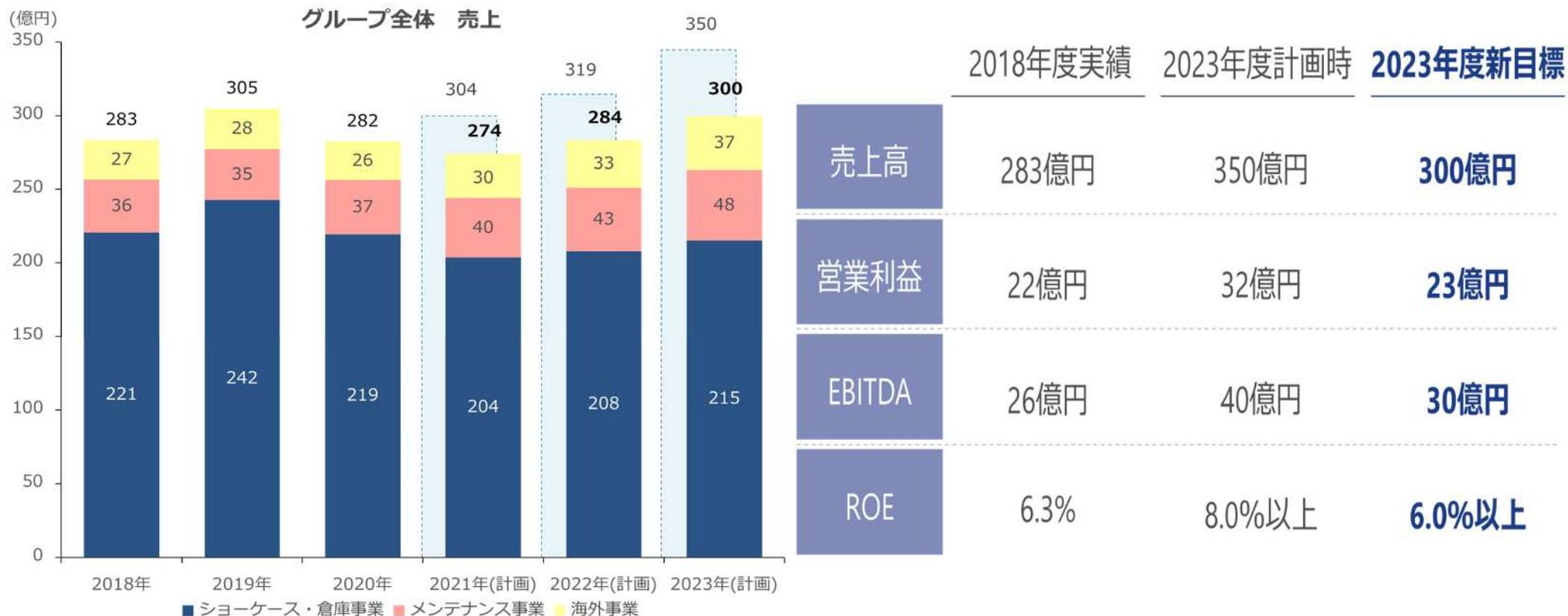
N-ExT 2023 のコンセプト

◆ 「冷やす」技術をもとに最良の製品・サービスを生み出し、顧客と共に新しい課題に取り組むことで社会に貢献する

A.安定：新技術を活用した、更なる効率化を実現できる製品・サービスの提供

B.成長：従来のお客様の「冷やす」に留まらないお悩み・ご要望の解決

C.挑戦：新たなお客様へ向けた、「冷やす」を起点とするサービスの提供



※点線は、当初の計画値 (2018年12月発表)

※2018～2020年は実績、2021年以降は計画見直し後の数値 (2021年2月発表)

III. 中長期経営計画“N-ExT2023”

1. 中長期経営計画の概要

2. 事業計画進捗

3. 設備投資の進捗状況



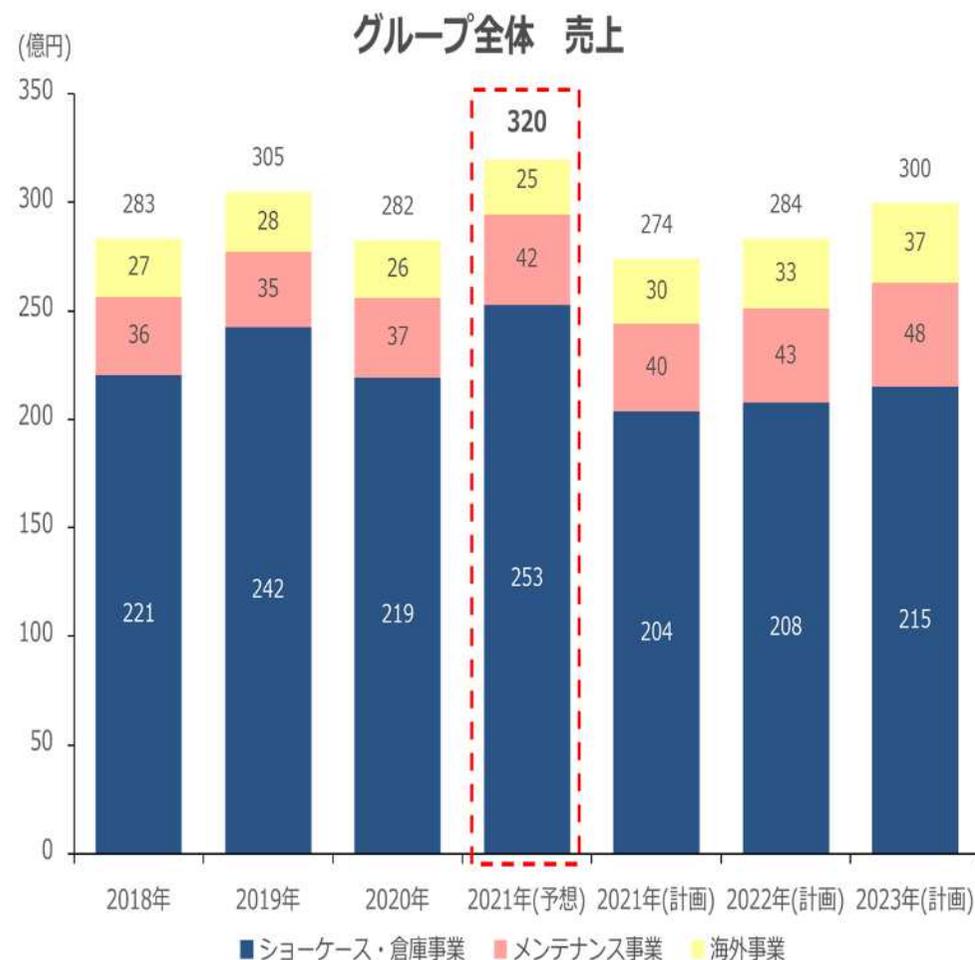
2021年は、スーパーマーケットの改装需要が増え、全体売上で320億円を見込む

【計画見直しの背景】

- 新型コロナウイルスを始めとする経済の先行き不透明感
⇒ 小売業界を取り巻く環境が大きく変化
- 当社の事業環境・競合環境に影響

【2021年上期実績と今後の予想】

- スーパーマーケットの業績が好調なことから改装需要が増えている状況
⇒ 今後も設備投資促進に向けた研究開発や提案を継続
- 海外事業は、昨年から渡航制限や現地調査にも大きな制限が発生



新技術を活用した、更なる効率化を実現できる製品・サービスの提供

【今後の見込み】

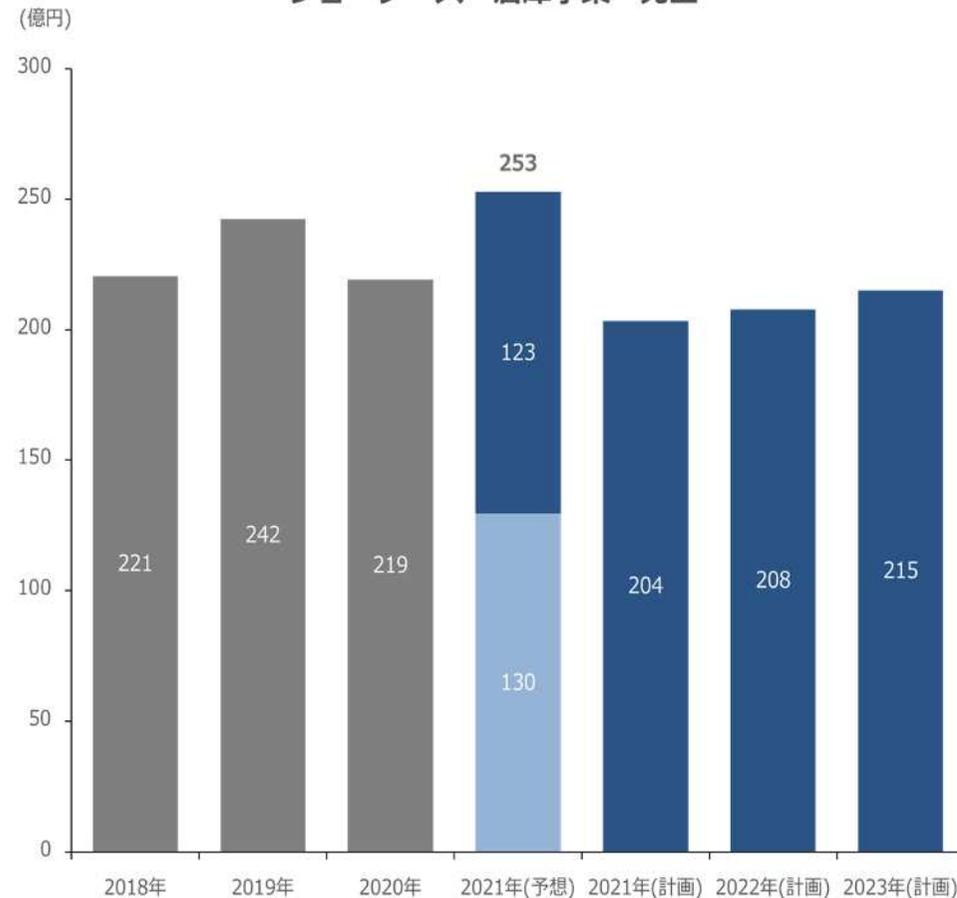
- 2021年はスーパーマーケットの改装物件が多く好調
- コンビニ、倉庫物件については堅調に物件を確保
来年以降の設備投資促進に向けた、開発や提案を継続していく

【今後の施策】

- 省エネ・省力化ケースやオプションを新たに開発
- ケース周辺機器の関連販売
⇒ 他企業と連携し、店舗全体で総合提案できる体制を構築
- 最新冷却システムの研究開発(ノンフロン冷媒、低GWP冷媒)
- クラウドシステムを利用したシステムの開発
⇒ 異常予知診断確立
⇒ 点検、修理の省人化・効率化
⇒ 店舗全体のトータル制御
- 環境配慮に向けた技術開発・技能強化
⇒ フロン漏洩検知・新冷媒対応



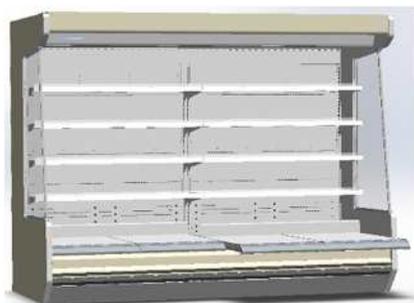
ショーケース・倉庫事業 売上



概要 / 実績

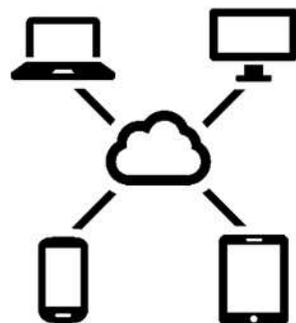
【ショーケース】

- 冷凍機別置ケースのモデルチェンジ実施 (2021年3月)
- 内蔵ケーストップランナー対応に向けたインバータ機種種の拡充



【システム】

- 店舗監視システムのアップグレード (2020年1月)
- 店舗監視クラウドシステム構築 (2020年3月)
- CO2冷却システム対応継続中



今後の計画 / 課題

【ショーケース】

- 冷凍機内蔵ケースのモデルチェンジ
- 省人化ショーケース・オプションの開発・提案
- ショーケース周辺機器の関連販売強化



【システム】

- 最新冷却システムの研究・開発
- 低GWP冷媒導入提案の継続
- 店舗全体のトータル制御提案
- 点検、修理の省人化・効率化



従来のお客様の「冷やす」に留まらないお悩み・ご要望の解決

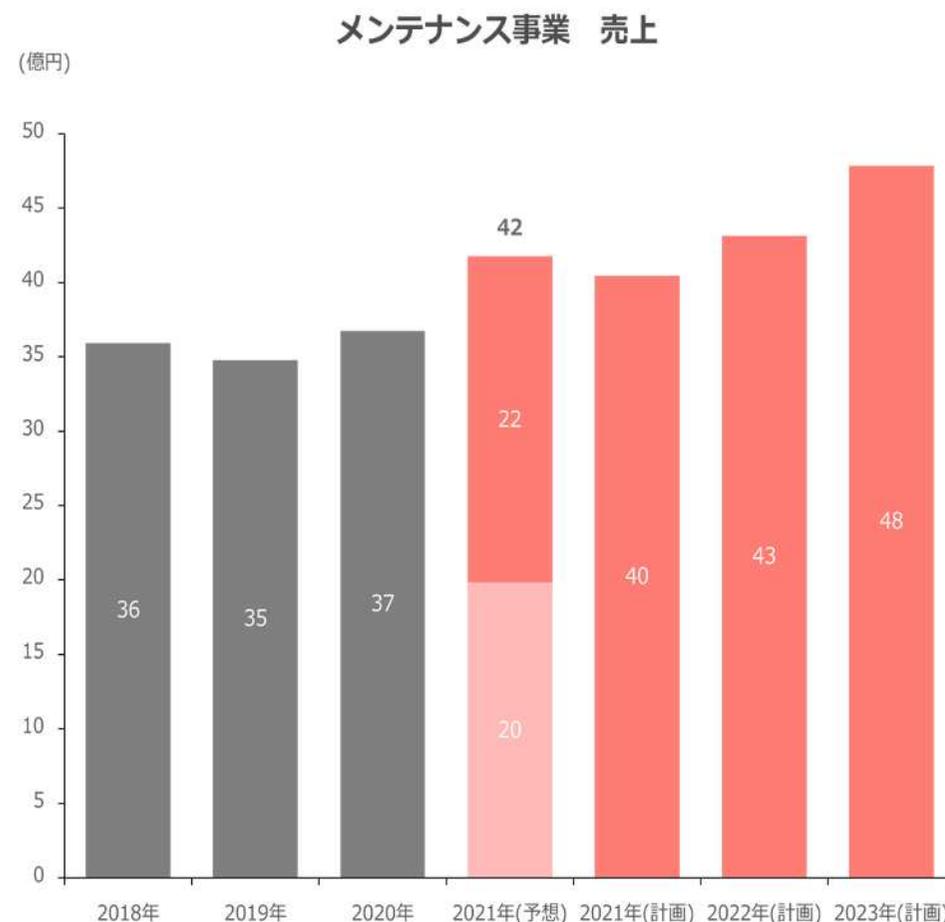


【今後の見込み】

- 2021年は物件量を確保し堅調を維持すると予想
2022年以降も引き続き計画数値を見込む

【今後の施策】

- 改善提案による継続的な店舗サポート
⇒ 当社メンテナンス評価を高める
- 保守契約店舗の拡大
- 空調機点検の受注獲得
- センサムクラウドと連携した予防保全
- 物流施設向け点検・整備提案の推進
⇒ 新規・休眠客先への提案を実施
- メンテナンス領域の拡大



新たなお客様へ向けた、「冷やす」を起点とするサービスの提供

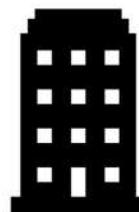


【今後の見込み】

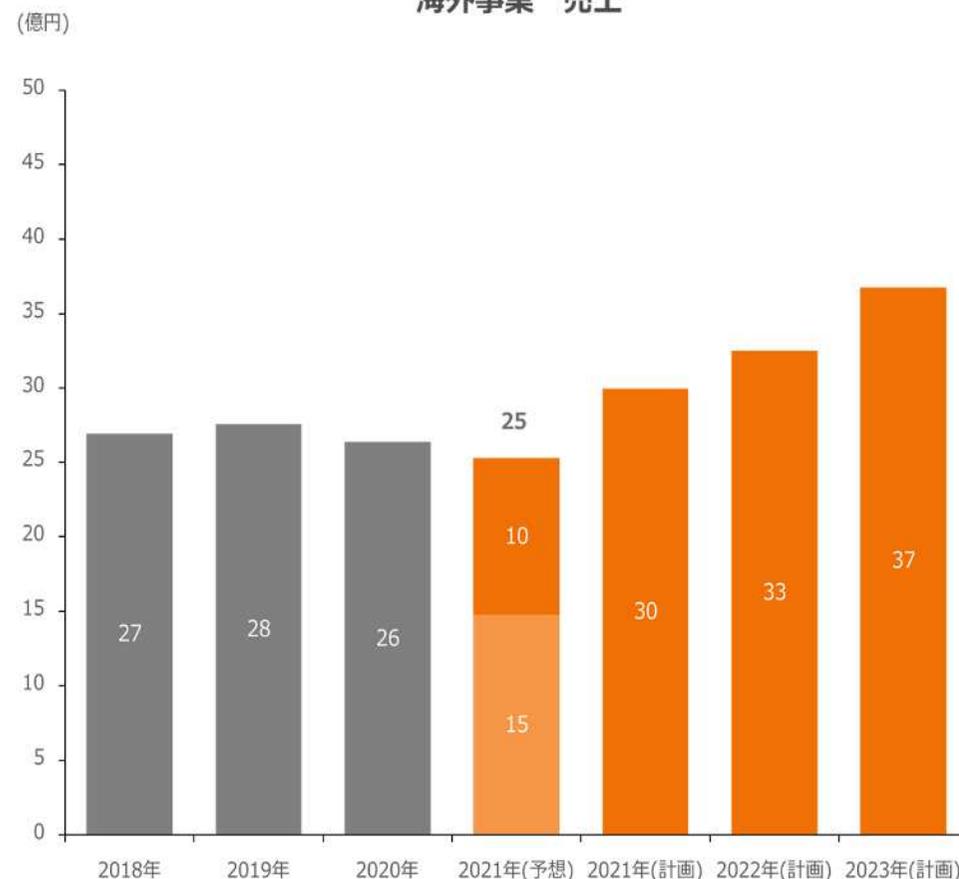
- 東南アジアは、新型コロナウイルスの影響により、渡航や現地調査に大きな制限が発生しており、当初計画より遅れが発生。
- 中国は、ネット販売普及が進んでおり、実店舗は伸び悩んでいるため、設備投資抑制傾向

【今後の施策】

- 中国合弁との連携を強化
⇒ 海外事業における製造拠点として、連携強化
- 日系外資企業への営業
⇒ 既存の顧客接点を起点としたルート開拓
- 現地企業への営業
⇒ 現地活動を通じた顧客の開拓
- 設計協力の受諾
- 現地人材の採用
- 現地委託店ネットワーク確立
- 現地技術者育成



海外事業 売上



III. 中長期経営計画“N-ExT2023”

1. 中長期経営計画の概要

2. 事業計画進捗

3. 設備投資の進捗状況

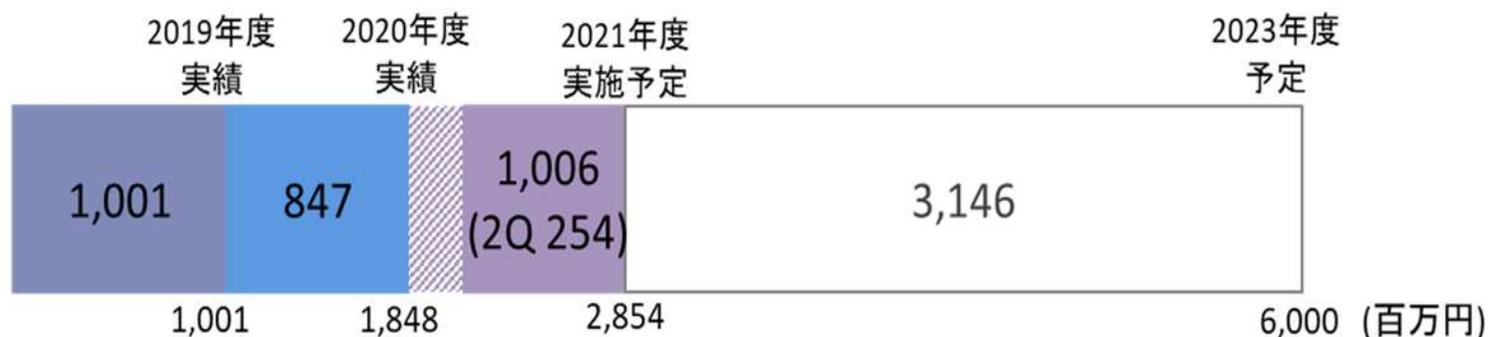


2021年度は上半期実績2.5億円の投資を実施

中長期経営計画 (2019年度～2023年度)



2021年度 計画



2021年度 設備投資実施予定 内訳

- 生産設備 : 3.1億円
- 環境整備 : 0.2億円
- 基幹システム : 2.7億円
- 業務改善 : 1.4億円
- 事業拡大 : 2.7億円

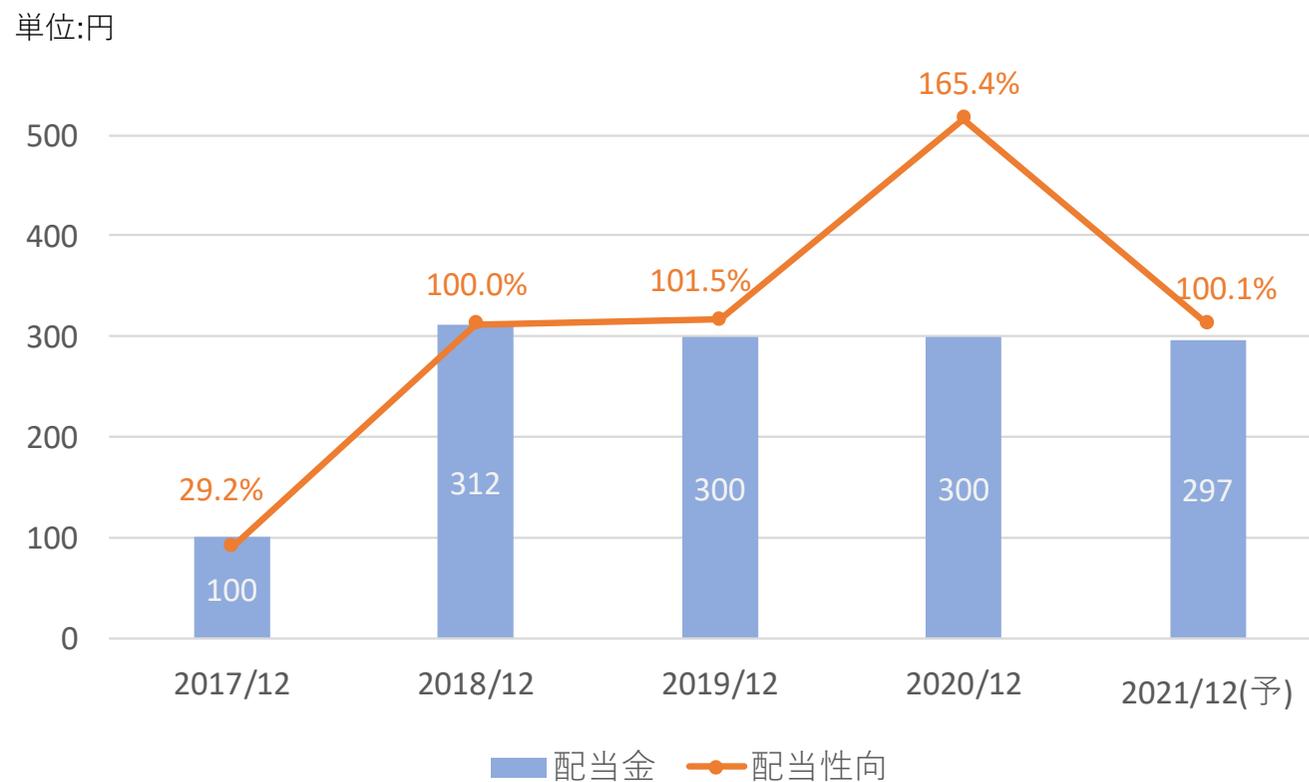
IV. 株主還元方針



配当方針

- 2021年12月期以降は、株主利益還元を基本とする配当方針を継続し、連結配当性向について年間100%を目標とする

配当実績

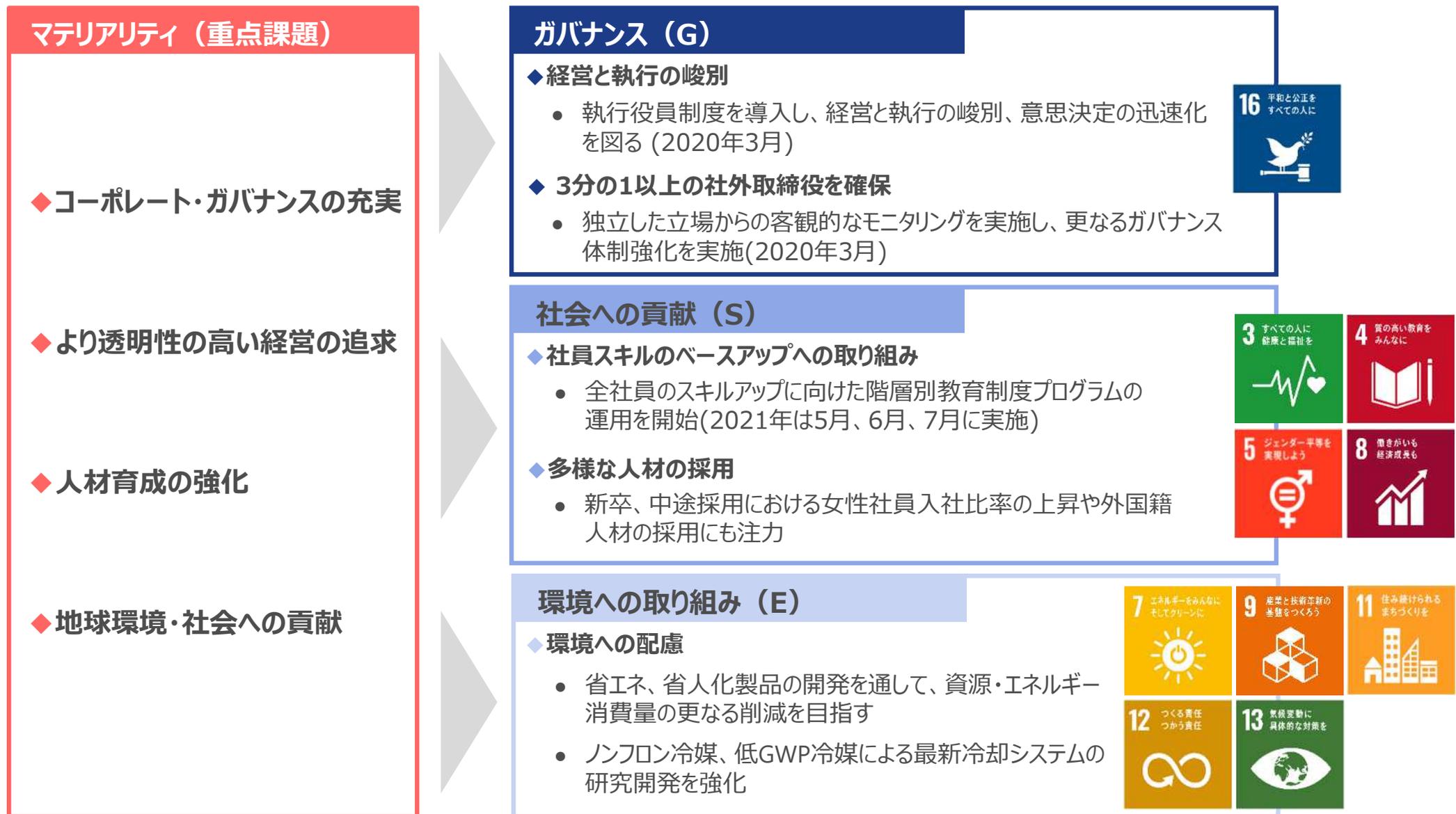


V. 企業価値向上に向けた取り組み

1. 企業価値向上に向けた取り組み
2. 環境に向けた取り組み



長期にわたる安定成長を通して、全てのステークホルダーとの良好な関係の確立・継続を目指す



健全な事業活動を基盤とした経営で、ステークホルダーの皆様に対する責任を果たしつつ、お客様と共に社会的課題に取り組み、信頼される企業を目指す



お客様・社会的課題の解決

社会に信頼される企業

中長期経営計画

省エネ

省人・省力化

温室効果ガスの削減

企業行動憲章・CSR方針

経営理念・経営方針

省エネ

- 新製品開発による省エネ
- 製造工程における省エネ



省人・省力化

- 商品陳列の簡易化
- 豊富なスライド棚ラインナップ

商品陳列の簡易化

- **スライドデッキ機種種のラインナップ**
EPシリーズではスライドデッキ標準化機種種をラインナップ。デッキを跨ぐ陳列では、デッキを連結しての引き出しが可能。

- **スライド棚各種ご用意**
お客様の様々なお店づくりに対応させていただくため、日配用、飲料用、生鮮用の豊富なラインナップをご用意しています。

温室効果ガスの削減

- 温暖化影響の低い冷媒への転換
- 製品輸送方法の見直し

- **温暖化影響の低い冷媒への転換**
フロン排出抑制法の2025年目標値(GWP値：1500以下)を目指し、低GWP冷媒製品への転換を進めています。

- **製品輸送方法の見直し**
九州地域への輸送をモーダルシフト(陸上輸送から海上輸送)に転換し、また輸送の効率化として、複数配送を実施しました。

事業で貢献する
SDGs 重点目標



1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了しておりません。
2. 本資料及び本説明会に含まれる予想値、将来の見通しに関する記述は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。そのため、実際の業績は様々な要因により予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は、将来に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。



■■■■ 鮮度ビジネスのリーダー ■■■■
Nakano

